

I 調査の概要

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としている。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることに十分に配慮することが必要である。

2 対象学年

- ・小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年
- ・中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

① 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 (国語A、算数・数学A)	主として「活用」に関する問題 (国語B、算数・数学B)
<ul style="list-style-type: none">・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

② 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
<ul style="list-style-type: none">・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 <p>※平成25年度調査は、きめ細かく把握・分析できるように複数冊子化して実施されており、各学校単位で割り振られた1冊子のみ調査を実施</p>	<ul style="list-style-type: none">・学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 実施日

平成25年4月24日 (水)

5 調査を受けた人数等

【札幌市】

	在籍数	調査を受けた人数及び参加率	
小学校	15,400人	14,876人	96.6%
中学校	15,271人	14,486人	94.9%
合計	30,671人	29,362人	95.7%

※小学校には特別支援学校小学部を、中学校には特別支援学校中学部を含む。

※調査を受けた人数は、回収した解答用紙が最も多かった教科の人数。

※調査当日、インフルエンザによる学年閉鎖を行い、4月25日以降に実施した学校(小学校1校)の結果は集計に含まれないため、在籍数及び調査を受けた人数から除いている。